令和２年６月

体協だより

ABIGAN 第２号

スポーツ高岡　～打倒！コロナつうしん～

スポーツ活動の新たなスタート

(公財)高岡市体育協会　事務局長　東　　和幸

全国各地で段階的にイベント開催制限の緩和や外出自粛の緩和等、少しずつ日常が戻りつつあるようです。

当協会指定管理施設におきましても、感染防止策の対応を徹底し、６月１日より全施設が通常どおりの開館（場）となりました。私が勤務します「東洋通信スポーツセンター」でも連日午前中より多くの利用者が来館され、「爽やかな汗」を流されています。

しかし、今までとは少し勝手が違う『新しい生活様式』を取り入れながらのスポーツ活動のスタートです。具体的には、①入退館（場）の際の手指の消毒、②十分な距離の確保、③更衣室利用の際のロッカー消毒、④タオルや飲み物の共用をさけるなど、施設を利用いただく皆様の安全安心を第一に考えた運営となります。

これからは、スポーツ活動はもちろんのこと、日常生活と感染拡大防止対策を両立していかなければなりません。一人ひとりが基本的感染対策を心がけながら『Ｓｐｏｒｔｓ　Ｌｉｆｅ』の充実を図っていきましょう。

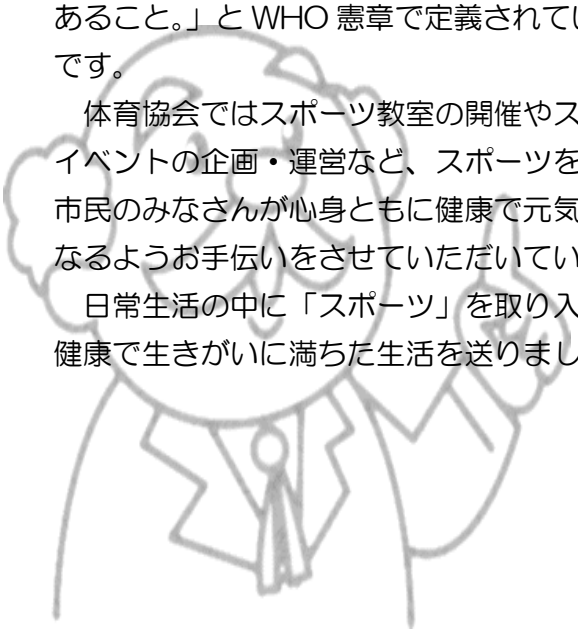
◆健康によい話◆

みなさんは健康ですか？

健康とは、「病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること。」とWHO憲章で定義されているそうです。

体育協会ではスポーツ教室の開催やスポーツイベントの企画・運営など、スポーツを通して市民のみなさんが心身ともに健康で元気になるようお手伝いをさせていただいています。

日常生活の中に「スポーツ」を取り入れ、健康で生きがいに満ちた生活を送りましょう(^^)/



クスッと笑える話

４年前から猫を飼っています。飼っているといっても、実家にいる猫を都合よく可愛がって飼っているつもりになっています。

雑種の雄で、飼い始めた時のサイズから「ちび」と名づけられましたが、時が流れちびは順調に成長し、どちらかと言えば大きいほうの猫になりました。

亡き母の誕生日に家に来たことから、私たち人間は勝手に縁を感じていますが、父によくなついて、父が移動すると一緒に後ろをついて歩く姿には、母の面影は微塵もありません。しかし、ステイホーム中にちびの存在がずいぶんと私たちの癒しになったわけであり、ちびには感謝しています。